

BULK FORMING

日本塑性加工学会 鍛造分科会 ニュース No. 11 1991年8月

鍛造分科会事務局
〒235 横浜市磯子区氷取沢町150-4, 14-104 西山方
TEL-FAX (045)771-4709

関西支部でニチダイの見学会

塑性加工学会関西支部では6月26日に(株)ニチダイにおいて懇談会と同社本社工場と宇治田原工場の見学会を開催した。当初予定した参加者は30名であったが、70名もの申込がありバス収容限界の約50名まで増員された。午前中に行われた懇談会ではKOMATSUの安藤弘行氏の「閉塞鍛造における技術動向」とニチダイの島崎定氏の「閉塞鍛造シミュレーションプレス」の講演と、関連の質疑応答があった。午後は同社の金型工場、CAE、閉塞鍛造シミュレーションプレスを見学したが、冷間鍛造金型専門の同社の技術に対し高い関心が持たれ、活発な質疑応答が行われた。

運営委員会からの報告 (1991年6月4日開催)

1. 運営委員の変更

運営委員の任期途中での交代があった。

退任委員 馬場 惇氏 (会社変更のため)

古沢 貞良氏 (所属変更のため)

就任委員 松井 正広氏 (阪村機械製作所)

中村 守文氏 (神戸製鋼所)

2. 台湾への講師派遣

「東和化学研究所」より当分科会へ、台湾の会社への巡回指導者を派遣してほしい旨依頼があった。分科会として馬場 惇氏を推薦し、馬場氏に依頼したところご快諾いただき、さる5月20日から10日間、台湾の14社の指導および講義をしていただいた。

3. 第52回研究集会

開催日：1991年10月22日（火）

開催場所：アイダエンジニアリング（株） 工場見学も含む。

テーマ：「鍛造における軽量化並びに精密化技術」

以上のように決まった。詳細については追って通知する。

4. 鍛造FMS研究委員会について

当初関口委員を代表者として発足したが、FMSとしては活動に無理があるためより現状に即した分野での委員会としたいとのことで、鍛造システムを中心とした研究班を検討中である。そのためFMS研究委員会は発展的解消となる。9月ごろには新しい研究班が発足する。

～新入会員のお知らせ～

1991年4月より下記会員の入会があった。

片山 傳生 同志社大学

湯浅 紘二 小松ブリテックス（株）

大湊 公彦 住金精圧品工業（株）

石橋 格 住鋳潤滑剤（株）

永岡 宣人 第一鍛造（株）

橋本 勲 福井鋳螺（株）

竹谷 桂之 YKK 吉田工業

清水 博明 清水電設工業（株）

井出 正明 （株）青山製作所

木俣 博岳 //

小沢 順造 //

秋元 清隆 同和鋳業（株）

長谷川平一 後藤鍛工（株）

田中 浩一 トーカロ（株）